

共同生活と交流・体験活動を通じて、子供たちが本来の元気・自信を取り戻す おかやま希望学園の魅力をも高めるプロジェクトチーム

活動の目的

体験活動の充実を図り、おかやま希望学園の魅力を高める

活動の内容及び経過

寄宿舎生活を送る中で、生活リズムを改善し、自然体験・生活体験・地域交流体験を通じて、本来の元気・自信を取り戻す取組の充実を図るため、コロナ禍の中での新たな取り組みなどを工夫した。

①本学園への入学を前提としない「学園生活体験事業」を実施し、豊かな自然の中での規則正しい生活、ゆっくりゆったりした学びを体験する機会を積極的に提供した。

②インターネットを活用した芸術表現交流会（未来をつくることも交流会） 11月～12月

・りら創造芸術高校（和歌山県）の有志メンバーと芸術表現活動（音楽・ダンス等）を通して3回にわたって交流し、その成果を同時観賞する発表会を開催した。

・経過

事前準備「えがおの芽」カラオケ作成（学園中学生）

令和2年11月2日 リモート合同練習会① 歌・手話

令和2年11月9日 リモート合同練習会② 歌・手話

りら創造芸術高校生徒 動画作品編集・作成

令和2年11月26日 リモート合同練習会③ 歌・手話

令和2年12月23日 リモート作品鑑賞会

おかやま希望学園児童生徒 合唱披露

高校生徒とのオンラインでの懇談・交流

③「石文化（巖）とアート」体験活動 11月

・学園に寄贈いただいた石のアート作品（「エピオルニス」）に触れ、石の芸術家戸田瑠元氏の思いを聞き、石にノミを当てる体験を通して、「平和と命のメッセージ」を共有した。

・経過

令和2年11月7日 アート作品設置準備

令和2年11月22日 アート作品「エピオルニス」設置

令和2年11月13日、16日 児童、岡山駅西口の作品見学

令和2年11月24日 作家戸田瑠元先生との交流
作品鑑賞 コーディネーター 友延栄一氏
石の彫刻体験

④地域の団体と連携した「道しるべ（案内板）」づくり 2月

・学園を支援してくださっている加茂川ホリディフォレスターの皆さんの指導をいただき、老朽化した学園への案内板を作成、設置する。

・経過

令和3年3月8日まで ホリディフォレスター 案内板 板、柱の準備

令和3年3月8日から 学園児童生徒 板の地下ペンキ塗り
ホリディフォレスターメンバーによる指導

令和3年3月20日 案内板完成



芸術表現交流発表会の練習



「エピオルニス」に触れ作家の説明を聞く



道しるべの作成



学園議会制作冊子「新しい生活様式」

⑤その他

ガイドブック「新しい生活様式」の作成 3月

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらない中で、「新しい生活様式」を取り入れた全寮制の学校生活に取り組み子供たちが、その様子を双六形式でまとめた冊子を作成した。

・経過

令和2年7月24日 学園議会スタート 役員選挙

「冊子」検討

令和3年1月28日 学園議会 冊子制作協議

令和3年2月25日 学園議会 冊子案まとめ

令和3年3月19日 学園議会 冊子発表

活動の成果・効果

・コロナ禍の中、制約の多い学校生活になっているが、この時代だからこそできることを積極的に考え、新しい魅力ある活動に取り組んでいくことができた。

・地域との交流活動が大幅に制約され、表現活動などの発表の機会が持てない中で、インターネットを活用した交流の可能性を確認することができた。

・体験的な活動の充実に向けて、学園の活動への支援者・団体の幅を広げることができた。

今後の課題と問題点

・リモート交流を進める上で、学園内外の通信環境を改善・充実していくことが望まれる。

・地域の支援者が高齢化してきており、持続的な連携・支援体制を構築していくことが必要。

- 代表者：岡本啓 ●所在地：加賀郡吉備中央町高谷
- TEL：0867-34-1600 ●E-MAIL：info@kibou-gakuen.jp
- URL：http://www.kibou-gakuen.jp/
- 設立年：1994年 ●メンバー数：23名